

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	浦 丈彦
主な担当科目	合奏Ⅰ,合奏Ⅰ①,合奏Ⅰ②,合奏Ⅱ,合奏Ⅱ①,合奏Ⅱ②,合奏Ⅲ,合奏Ⅳ,合奏Ⅴ,合奏Ⅵ,室内楽演習Ⅰ,室内楽演習Ⅱ
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	一律の指導をすることなく、個々の成熟度、成長度合いに合わせて指導する。強要するような言葉にならないように気をつけて、自由な発想を妨げないようにする。授業は、より興味が湧くような内容になるように工夫する。
2023年の教育に関する 自己評価	個別には対応できたと思うが、もう少し成長の期待を持って高いレベルに引っ張っていく強引さがあっても良かったと思う。授業に関しては、音楽活動研究の講義はまだまだ工夫が足りないと感じている。
2023年のFD活動に 関する自己評価	3年目に入り、FD研修にて学ぶ意味を感じ、改めて自分を省みることも増えている。教育という観点では、まだまだ知らないことが多く、学ぶことが多いと感じている。
授業改善のために 取り入れた研修内容	セクハラ、ジェンダーレスの観点から学生の呼び方を改善した。プライベートな話で聞かれていないのに、こちらから深入りしないように気をつけている。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2525 教員名:浦 丈彦

1)アンケート結果に対する所見

音楽活動研究の評価に対しては、率直に授業内容がまだまだと感じるものがある。
室内楽当別演習に関しては、素直に満足してもらえて良かったと感じている。

2)要望への対応・改善方策

音楽活動研究では、学生とのコミュニケーションをとりながら進められているという項目の評価が少しでも上がるように工夫していきたい。
室内楽は、100%というのは素直に受け取ってもいいが、専門分野であるから、もっと賛否両論あるような刺激のある時間にしていきたい。

3)今後の課題

一方的な情報の伝達ではなく、少しでもディスカッションしたり、コミュニケーションをとりながら、お互いが考える時間となるように授業の仕方を工夫していけたらと考えている。

以 上